



2009

要覧



さいたま市立教育研究所

さいたま市立教育研究所沿革

| | |
|----------|---|
| 平成14年 4月 | 組織改正により、浦和教育研究所、大宮教育研究所、与野教育研究所を統合しさいたま市立教育研究所を開設する。 |
| 平成14年 4月 | 野本 雅夫 初代所長に補せられる。 |
| 平成15年 1月 | 全国教育研究所研究集会で研究発表を行う。 |
| 平成15年 4月 | 埼玉県からの業務移管により初任者研修を単独実施する。 |
| 平成16年 3月 | 教育情報ネットワークが完成し、市内全小・中学校がインターネットで結ばれる。 |
| 平成16年 4月 | 松下 道夫 第2代所長に補せられる。 さいたま市独自の初任者研修テキストを発刊する。 |
| 平成16年12月 | 学習指導案のインターネット公開を開始する。(DOT 指導案) |
| 平成17年 2月 | 関東地区教育研究所連盟第3回委員会をさいたま市立教育研究所で開催する。 |
| 平成17年 4月 | さいたま市学校教育のWeb ページを公開する。 教育相談事業が条例の改正により指導2課へ移管される。 5年・10年経験者研修、教育経営研修、臨時的任用教員研修を教育研究所単独実施とする。 指導1課所掌分の「情報教育」が研究所に移管され、研究所が一括して情報教育を所掌する。 |
| 平成17年 7月 | 岩槻区の各学校 Web ページが完成し、公開する。 |
| 平成17年10月 | 学習到達度調査が研究所に移管され、「さいたま市小・中学校学習状況調査(対象;小5年,中2年)」として市立全小・中学校で実施する。 |
| 平成17年11月 | カリキュラムサポートセンターを開設する。 |
| 平成18年 1月 | 教師力養成塾(平成19年1月に「教師力」パワーアップ講座と名称変更)を開講する。 |
| 平成18年 8月 | 校内LAN研究パイロット校として市内4校を指定し、「情報教育」の研究を開始する。 |
| 平成18年10月 | さいたま市独自の意識・生活実態調査を実施する。 |
| 平成19年 3月 | 教育情報ネットワークサーバを再構築する。 |
| 平成19年 4月 | 小山 勝 第3代所長に補せられる。 |
| 平成19年 4月 | 第1回全国学力・学習状況調査を教育研究所の所掌で実施する。 |
| 平成19年 4月 | 校内LANを活用した指導方法の工夫改善に関する研究について、市内4校を研究指定校として委嘱する。 文部科学省委託事業「学力調査の結果に基づく検証改善サイクルの確立に向けた実践研究」として「さいたま市検証改善委員会」を設置し、事務局をさいたま市立教育研究所に置く。 |
| 平成19年11月 | 都道府県指定都市教育センター所長協議会主催「第41回初等理科部会研究協議会及び研究発表会」並びに平成19年度関東地区教育研究所連盟主催「科学教育部会研究協議会(初等理科)」が開催される。 |
| 平成20年 3月 | さいたま市検証改善委員会より、全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた具体的な提言「さいたま市学校改善支援プラン」が示される。 |
| 平成20年 4月 | 文部科学省委託研究事業「全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善に係る実践研究」として、調査活用協力校6校を指定する。 |
| 平成21年 2月 | 全国学力・学習状況調査等を活用した研究成果報告会を開催する。 |



目 次

| | | |
|------------------|-----------|------|
| ・ 教育研究所運営方針・基本方針 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 2 |
| ・ 教育研究所組織図 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 3 |
| ・ 業務分担一覧 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 4 |
| ・ 調査研究事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 6 |
| ・ 教職員研修事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 8 |
| ・ 情報教育事業 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 12 |
| ・ 主な施設・設備 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 14 |
| ・ 教育研究所利用規程 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 15 |

平成21年度教育研究所運営方針と基本方針

平成21年度の運営方針

- 1 教職員の資質・能力の向上を目指し、未来を拓くさいたま市教育の推進を図る。
- 2 学校のニーズと時代の要請をとらえ、学校支援のための情報発信を図る。
- 3 埼玉大学やさいたま市教育研究会等、その他の機関と連携を強める。

平成21年度の基本方針

●授業力向上を目指す実践的な調査研究と学校支援のための情報発信

国や市の学力・学習状況調査結果を基に教科研究を実施し、教育課程の編成や学習指導の工夫・改善を図る。

授業づくりや研修に生かせるカリキュラム開発や教育実践の支援の充実を図る。

教育研究所連盟の研究の確実な実施を図る。

●未来のさいたま市教育を支える教職員研修の工夫・改善

キャリアステージや職務に応じた研修の充実を図る。

学校の課題や教職員のニーズに応じた実効性のある教職員研修の構築と円滑な実施を図る。

大学や企業等と連携した研修事業の推進を図る。

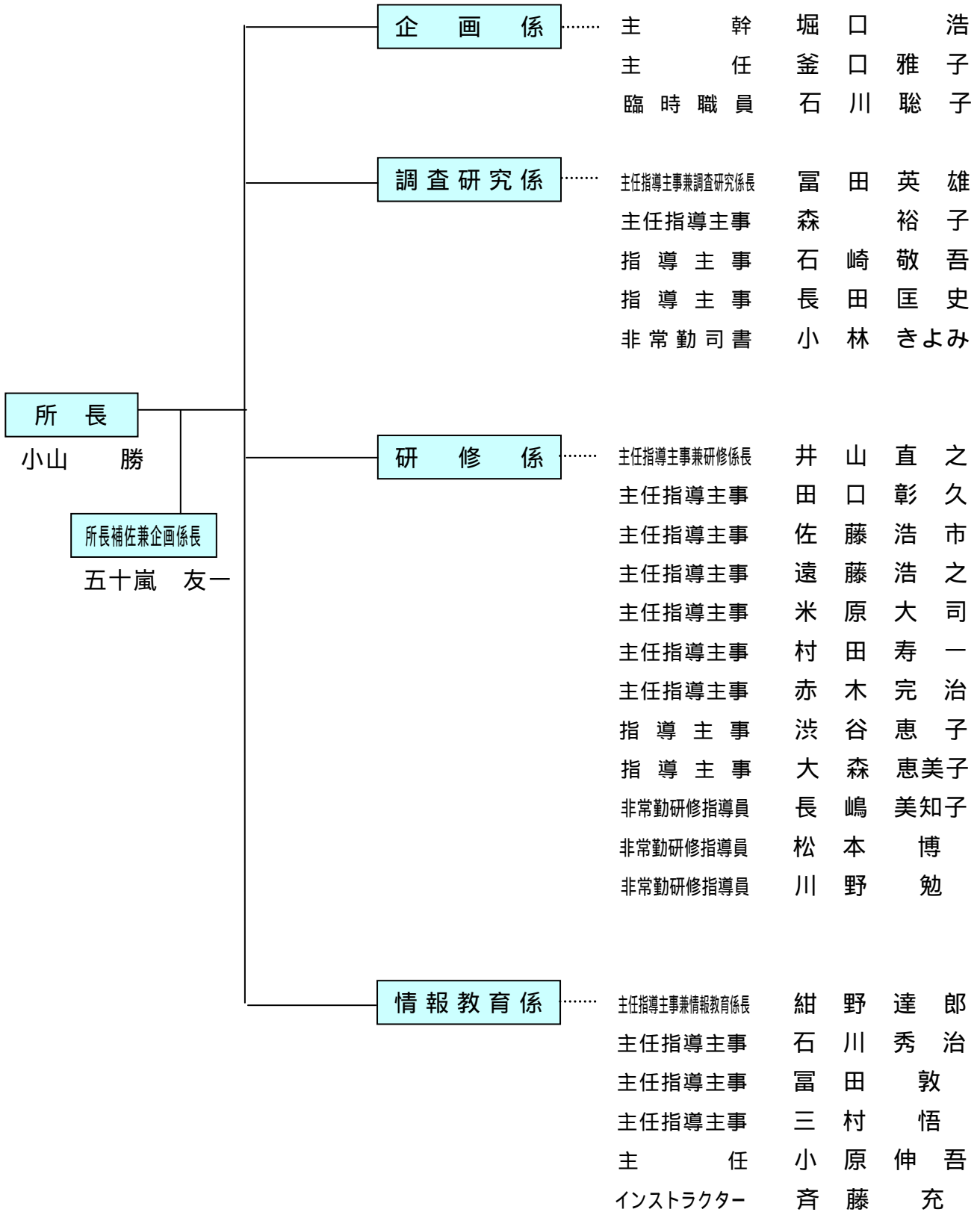
●教職員及び児童生徒の情報活用能力の育成

ICTを活用した「分かる授業」の充実及び情報モラル教育の推進を目指し、教職員、児童生徒の情報活用能力の育成を図る。

校内LANの環境整備を進め、普通教室等において情報機器を活用した指導方法の研究を進める。

教育用コンピュータや学校図書館コンピュータに関わる機器の整備を進め、これらの一層の活用促進を図る。

組 織 図



業務分担一覧

| 職名・氏名 | 担当・教科領域等 | 研究委員会・資料作成委員会 | 研 修 会 | そ の 他 |
|---------------------------|-----------------------|---------------|-------|--|
| 所長 小山 勝 | 統括 | | | |
| 所長補佐(兼) 企画係長 五十嵐 友一 | 企画係統括 企画研究 情報教育 | | | 運営委員会 校長会 教頭会 議会 教委 連絡調整 視察対応 防火防災 * 研修会会場調整 * 指導主事会議 * 年間計画・日程 |

企画係

| 職名・氏名 | 財 務 ・ 会 計 | 庶 務 ・ 業 務 ・ そ の 他 | | |
|------------------------------|-----------------------|--|--|--|
| 主幹 堀口 浩 | 予算編成・執行 決算 契約 特定調達 | 施設管理 業務委託 企画研究 調査研究 議会(予算、決算特別委員会) 情報公開 | | |
| 主任 釜口 雅子 臨時職員 石川 聡子 | 予算編成・執行 決算 | 常勤職員サービス管理 非常勤・臨時職員サービス、人事、給与 備品管理 車両管理 文書收受 研修室利用 ファイリング | | |

調査研究係

| 職名・氏名 | 担当・教科等 | 研究委員会・資料作成委員会 | 研 修 会 | そ の 他 |
|-------------------------------|--|---|---|--|
| 主任指導主事 (兼) 調査研究係長 冨田 英雄 | 調査研究統括 理科 | * 理科研究委員会 * さいたま市中学校学習状況調査 (理科) | < 専門研修 > * 新学習指導要領対応観察・実験だ！研修会(希) * 新学習指導要領対応単元まるごと実験しよう研 修会(希) | 調査研究全体調整 * 外部対応 * 指定都市教育研究所連盟第16次共同研究 * 理数系教員指導力向上研修 ・教育研究所運営委員会 ・実験・実技関連器具貸出システム |
| 主任指導主事 森 裕子 | 調査研究 国語科 | * 中学校国語科研究委員会 * さいたま市中学校学習状況調査 (国語科) | < 専門研修 > * 国語力向上研修会～ここがポイント新学習指 導要領～(指・希) * 国語科実技研修会～PISA型読解力向上 のための発問づくり～(希) | * 全国学力・学習状況調査 * 要覧編集 * 所報編集 |
| 指導主事 石崎 敬吾 | 調査研究 算数科 | * さいたま市小・中学校学習状況調 査総括 * さいたま市小学校学習状況調査 (算数科) | < 専門研修 > * 新学習指導要領、先取り授業をデザインしよう 研修会(指・希) * 国算研修会 - 名人に学べ - (算数)(希) | * 教育さいたま編集 * 教育研究所 Web ページワーキング会議 * 研究共有プログラム * 情報セキュリティーポリシー検討会議 |
| 指導主事 長田 匡史 | 調査研究 算数・数学科 | * 教科研究委員会総括 * 小学校算数科研究委員会 | < 専門研修 > * 疑似体験から考える福祉・ボランティア教育研修会 (希) * 小学校英語活動研修会～実践事例と演習から学ば う～(希) * 身近なところから考える環境教育研修会(希) * 不登校対応研修会(希) * 「小学校から始めるキャリア教育研修会」(希) | * Lesson Study 研修会 * 教育さいたま編集 * カリキュラムサポートセンター運営全般 * 研究紀要、学習指導案、授業ビデオ収集、 提供 * 教育資料、図書資料等収集、提供 * 研究委嘱 * 教科書センター、教科書展示会 * 教育研究所連盟全般 * 指定都市教育研究所連盟第16次共同研究 ・全国学力・学習状況調査 |
| 非常勤司書 小林きよみ | 司書業務全般 教育研究所図書資料室運営 学習指導案・教育文献等資料提供 学校図書館用コンピュータ操作支援補助 学校間物流 教育資料目録 | | | |

研修係

| | | | | |
|-----------------------------|-----------------|-------------------------------------|---|--|
| 主任指導主事 (兼) 研修係長 井山 直之 | 教職員研修統括 社会科 | * 中学校社会科学学習状況調査 | < 専門研修 > * 小・中社会科指導法研修会(指・希) | 教職員研修全体調整 * 研修業務全体計画 * 照会・回答 * さいたま市教職員研修企画委員会 * 子ども総合センター検討会議 ・教育研究所運営委員会 |
| 主任指導主事 田口 彰久 | 教職員研修 生活科 | * 生活科研究委員会 | < 特別研修 > * 教育経営研修会(推) ・指導改善研修 < 専門研修 > * 校内研究主任等研修会(指) * 作ってあそぼう生活科研修会(希) * 保護者との信頼関係アップ研修会(希) | * 教育研究所主催研修会効果測定 ・研究成果共有プログラム |
| 主任指導主事 佐藤 浩市 | 教職員研修 保健・体育科 | * 保健・体育科研究委員会 | < 年次研修 > * 10年経験者研修(必) ・5年経験者研修(必) < 専門研修 > * 体育、保健体育科授業づくり研修会(希) * 若い体育主任のための事例研修会(希) * 「自然の教室」指導者養成研修会(希) | * 10年経験者研修の手引き * 大学連携事業 * 免許更新制関係 * 年間計画・日程 ・教職員研修会案内、参加者調整 |
| 主任指導主事 遠藤 浩之 | 教職員研修 英語科 | * 外国語(英語)科学習状況調査 * 外国語(英語)科研究委員会 | < 年次研修 > * 初任者研修(必) * 初任者研修指導教員等研修会 < 専門研修 > * 英語教師のための授業力UP研修会(指・希) | * 初任者研修概要 * 初任者研修諸協議会 ・情報セキュリティーポリシー検討会議 |
| 主任指導主事 米原 大司 | 教職員研修 音楽科 | * 音楽科研究委員会 | < 特別研修 > * 指導改善研修 < 専門研修 > * 初心者のための箏実技研修会(希) * ~音楽科~創作活動に親しもう研修会(希) * 音楽の楽しさを体で感じ取ろう！研修会(希) * 基礎から学ぼう発達障害研修会(希) * 知っておきたい教育法規研修会(希) | * 研修指導員連絡調整 * 和楽器貸出 * 指導主事会議資料、指導主事研修 |

| | | | | |
|--------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|---|--|
| 主任指導主事 村田 寿一 | 教職員研修 図画工作・美術科 総合的な学習の時間 | * 図画工作・美術科研究委員会 | < 年次研修 > ・ 初任者研修 (必) ・ 初任者研修指導教員等研修会 < 特別研修 > ・ 指導改善研修 < 専門研修 > * 若い校務分掌主任のための研修会 (推) * 小中連携ひらめき美術研修会 (指・希) * 総合的な学習の時間研修会 (希) * 世界を考える子どもの育て方研修会 (希) * わくわく造形研修会 (希) * 生徒指導スキルアップ研修会 (希) * 道徳教育研修会 (希) | * 初任者研修手引き * 初任者研修テキスト「基礎・基本」 ・ 教育研究所 Web ページワーキング 会議 |
| 主任指導主事 赤木 完治 | 教職員研修 数学科 | * 中学校数学学習状況調査 | < 年次研修 > * 初めて教職に就く臨時的任用教員のための研修会 (必) < 特別研修 > * 教育講演会 < 専門研修 > * ブレイクスルー思考研修会 (希) | * 実験・実技関連器具貸出システム * 市教育研究会連絡調整 ・ 教育研究所主催研修会効果測定 |
| 指導主事 渋谷 恵子 | 教職員研修 家庭科 技術・家庭科 | * 家庭、技術・家庭科研究委員会 | < 年次研修 > * 5 年経験者研修 (必) < 特別研修 > ・ 教育経営研修会 (推) < 専門研修 > * 家庭科の基礎からはじめる調理と製作研修会 (希) * できることから始める食育研修会 (希) - 農業体験をしよう - * 技術科エネルギー変換の授業を考えよう研修会 (希) | * 教職員研修会案内、参加者調整 |
| 指導主事 大森 恵美子 | 教職員研修 国語科 | * 小学校国語学習状況調査 * 国語科研究委員会 | < 年次研修 > * 2 年経験者研修 (必) * 2 5 年経験者研修 - アクティブ 2 5 - (希) ・ 1 0 年経験者研修 (必) < 専門研修 > * 子どもを生き生きさせる特別活動研修会 (希) * コーチング研修会 (希) * 教職員のためのメンタルヘルス研修会 (希) * 学校カウンセリング基礎研修 (必) * 国算研修会 - 名人に学べ - (国語) (希) | * 教師力パワーアップ講座 * 部屋室利用調整、駐車場 * 厚生 ・ さいたま市教職員研修企画委員会 |
| 研修指導員 長嶋美知子 松本 博 川野 勉 | 指導改善研修、研修指導、研修会運営補助、研修報告整理、テキスト作成等 | | | |

情報教育係

| | | | | |
|------------------------------------|-----------------|---|---|---|
| 主任指導主事 (兼) 情報教育係長 紺野 達郎 | 情報教育統括 社会科 | * I C T 活用研究委員会 ・ 校内 L A N 推進部会 ・ 情報モラル教育推進部会 | < 専門研修 > * 情報管理者研修会 (指) * 情報 S S 研修会 (出前型) | 情報教育全体調整 * マニフェスト対応 * アクションプラン対応 * 校内 LAN 敷設・導入関係 * 教育情報ネットワーク運用管理 * 予算関係対応 * 視察対応 * 研究指定校対応 ・ 情報セキュリティポリシー ・ 教育研究所運営委員会 |
| 主任指導主事 石川 秀治 | 情報教育 社会科 | * I C T 活用研究委員会 ・ 校内 L A N 推進部会 ・ 情報モラル教育推進部会 | < 専門研修 > * 社会科フィールドワーク研修会 (希) * 小・中学校社会科指導法研修会 (希) * 新採用学校図書館司書コンピュータ操作研修会 (指) | * 照会・回答・調査対応 * ガイドライン * 学校図書館関連 * 実験・実技関連器具貸出システム * 情報関係研修会 |
| 主任指導主事 富田 敦 | 情報教育 国語科 | * I C T 活用研究委員会 ・ 校内 L A N 推進部会 ・ 情報モラル教育推進部会 | < 専門研修 > * 校内 L A N 指導者要請講座 (推) * 情報セキュリティ研修会 (指) * 学校 Web ページ更新研修会 (指) * 情報教育・情報モラル研修会 (指) | * 情報関係研修会 * 研究所・研修センター情報機器 関連運用 * 校内 L A N 工事業務 |
| 主任指導主事 三村 悟 | 情報教育 国語科 | * I C T 活用研究委員会 ・ 校内 L A N 推進部会 ・ 情報モラル教育推進部会 | < 専門研修 > * 小学校社会科デジタル教材活用研修会 (希) * 校内 L A N 導入校研修会 (指) * I C T 授業活用研修会 (希) ・ 情報モラル教育って何 ・ パワーポイントを活用しよう ・ 統合ソフトで教材づくり ・ デジタルコンテンツを活用しよう ・ 情報機器を活用しよう * 校内 L A N ・ コンピュータ導入校研修会 (指) | * 教育情報ネットワーク運用 * 情報関係研修会 * メール管理・稼働状況 * P C 使用状況調査 * 研究共有プログラム * P C ・ L A N 機器導入業務 * Web ^ - ジ 運用管理 * 教育研究所 Web ^ - ジ ワーキング 会議 * 情報セキュリティポリシー |
| 主任 小原 伸吾 | 情報教育 予算執行・契約 | | | * 照会・回答対応 * マニフェスト対応 * アクションプラン対応 * 研究所・研修センター情報機器 関連運用 * 稼働状況 * 校内 L A N 工事業務 * P C ・ L A N 機器導入業務 * 学校図書館関連 * 教育情報ネットワーク運用管理 * Web ^ - ジ 運用 * 備品管理 * ファイリング * 予算関係対応 |
| インストラクター 斉藤 充 | 情報教育 | | | * 教育情報ネットワーク運用管理支援 * 研究所・研修センター情報機器 関連運用支援 * P C ・ L A N 工事確認支援 * Web ^ - ジ 運用支援 * 備品管理支援 * 機器導入業務支援 * 研究指定校技術支援 * 情報関係研修会支援 |

調査研究事業

1 基本方針

授業力向上を目指す実践的な調査研究と学校支援のための情報発信

- (1) 国や市の学力・学習状況調査の結果を基に教科研究を実施し、教育課程の編成や学習指導の工夫・改善を図る。
- (2) 授業づくりや研修に生かせるカリキュラム開発や教育実践の支援の充実を図る。
- (3) 教育研究所連盟の研究の確実な実施を図る。

2 具体的努力事項

- (1) 「全国学力・学習状況調査」と「さいたま市小・中学校学習状況調査」を実施し、調査結果の分析、考察を行い、さいたま市の子どもたちの実態を把握する。
- (2) 教科研究委員会を組織し、全国及びさいたま市の調査結果等を踏まえた指導方法の改善について研究する。研究成果を「Lesson Study 研修会」等を通じて、各学校及び関係機関に発信し、授業改善に生かす。
- (3) カリキュラムサポートセンターの内容を充実させ、教員の指導力向上を支援する。
- (4) 指定都市教育研究所連盟における調査研究を確実に実施し、その結果を各学校及び関係機関等に広報する。

3 事業内容

(1) 調査と研究

全国学力・学習状況調査

ア． 調査の目的

教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

イ． 対象

さいたま市立小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童生徒

ウ． 実施教科

小学校第6学年 国語・算数

中学校第3学年 国語・数学

エ． 実施日

4月21日(火)

さいたま市小・中学校学習状況調査

ア． 調査の目的

学習状況調査委員会を組織し、さいたま市独自の問題を作成し、小学校5年生、中学校2年生の学習状況を把握する。また、結果を個に還元し、児童生徒一人ひとりの学習改善に生かす。さらに、全国学力・学習状況調査結果と合わせて結果報告会を実施し、各学校の教育課程の編成に生かす。

イ． 対象

さいたま市立小学校第5学年及び中学校第2学年の全児童生徒

ウ． 実施教科

小学校第5学年 国語・算数

中学校第2学年 国語・社会・数学・理科・英語

エ． 実施日

4月21日(火)

教科研究

全国学力・学習状況調査、さいたま市小・中学校学習状況調査の結果に基づいて授業改善のた

めの実践研究を行う。調査を実施しない教科についても、各教科の課題を踏まえた研究テーマの下に、学習指導法の工夫・改善に資する調査研究に取り組む。

ア．対象教科

小学校国語、算数、中学校国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図画工作・美術、体育・保健体育、家庭・技術家庭、外国語（英語）の12教科

イ．研究方法

教科ごとに教科研究委員会を組織し、国やさいたま市の調査結果に基づき、研究主題を設定し、研究を進める。研究内容を検証する「Lesson Study 研修会」を開催し、研究協議を通して研究を深める。

ウ．研究成果

研究成果は教育研究所Webページ上に公開するとともに、専門研修、年次研修、各学校への訪問指導等を通して周知する。

(2) カリキュラムサポートセンター事業（カリキュラム開発支援事業）

研究成果共有プログラム

- ・ 教育研究所と指導1課の連携事業
- ・ 市内研究発表校における優れた資料をWebページで情報提供
- ・ 研究内容の共有化

情報資料の提供

- ・ 学習指導案の収集と公開、配架
- ・ 年間を通じて、学習指導案等を収集し、最新の資料を紙媒体で配架
- ・ 授業実践のビデオ記録とライブラリー化
- ・ 市内各学校の研究紀要や教育委員会等作成の研究冊子の収集と配架
- ・ 教育研究所保有の教材・教具（理数）の貸出と活用方法のレクチャー

教材開発の支援

- ・ 学習指導や研修に関する個々の教員の相談に対応
- ・ 個々の教員の自主的研修の支援
- ・ 市内サークル活動への支援

図書資料室の有効利用

- ・ 学校間物流システムのPR活動
- ・ 司書による資料相談及び資料検索システムの積極的な活用

「教育さいたま」の編集・発刊（第21・22号）

さいたま市内の学校教育及び社会教育に関する研究、随想、実践報告等を掲載し、本市の教育の充実に寄与する目的で編集・発行する。

(3) その他

教育研究所連盟共同研究（全国・指定都市・関東地区・埼玉県）

- ・ 第16次政令指定都市共同研究

平成21年度 教育研究所刊行物等一覧

| | 刊 行 物 等 | 冊子の発行 | Web Up |
|---|--|-------|--------|
| 1 | 要覧 | | |
| 2 | 所報 第16号 | | |
| 3 | 「教育 さいたま」 第21・22号 | | |
| 4 | 平成21年度全国学力・学習状況調査結果報告 | | |
| 5 | 平成21年度 さいたま市小・中学校学習状況調査報告書（全体、教科別） | | |
| 6 | 教科研究委員会研究報告、教科研究委員研究授業指導案 | | |
| 7 | 初任者研修テキスト「教師としての基礎・基本」 - ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子どもを育てるために - | | |
| 8 | 初めて教職に就く臨時的任用教員のための研修テキスト | | |
| 9 | 情報教育資料 | | |

研修事業

1 基本方針

未来のさいたま市教育を支える教職員研修の工夫・改善

- (1) キャリアステージや職務に応じた研修の充実を図る。
- (2) 学校の課題や教職員のニーズに対応した実効性のある教職員研修の構築と円滑な実施を図る。
- (3) 大学や企業等と連携した研修事業の推進を図る。

2 具体的努力事項

(1) キャリアステージや職務に応じた研修を充実させる。

初任者研修では、「コース選択研修」などの実践的な研修の機会を設定し、基礎的な指導力の確実な定着を図る。また、2年経験者研修においては、「学校カウンセリング基礎研修」を3日間設定し、カウンセリングの手法の基礎を培う。5年経験者研修では授業分析や授業研究、教科別研修により授業力の向上を目指すとともに、施設体験研修を通して資質の向上を図る。臨時的任用教員研修では機関研修の日数を増やし、教科別研修を実施することで指導力を高める。さらに、「若い校務分掌主任のための研修会」「校内LAN指導者養成講座」「校内研究主任等研修会」を通し、学校運営に積極的に関わる若手教員の育成を図る。

(2) 研修受講後の効果測定やアンケートの集計結果を活用し、学校の課題や教職員のニーズの把握に努め、研修内容・研修形態等を見直し、より実効性の高い研修を企画・実施する。

各研修において、研修内容の重点化を図るとともに、研修目標の達成状況や実効性、研修成果の共有に関する研修評価を実施する。また、前年度の年次研修に関するアンケートを実施するなどして、教職員の研修後の意識や行動の変容について調査・測定した結果を生かし、研修内容の工夫・改善に努め実効性を高める。併せて、学校の課題や教職員のニーズに対応した研修内容、会場の分散、専門性の高い講師の招聘等、教職員の参加意欲を高める研修を企画・実施する。さらに、新たな教育課題等に対応するための研修として、メンタルヘルス研修、情報セキュリティ研修、保護者対応研修を実施する。

(3) 研修会場を分散化する。

全市的な視点から教職員研修の実施方法を見直し、円滑かつ効果的な研修の実施に努める。とりわけ、研修会場については、他の機関や施設等との連携・協力を深め、教育研究所以外にも会場を積極的に利用するとともに、同一内容の研修会を複数の会場で実施するなど、市域全体に広げるよう分散する。

(4) さいたま市教職員研修の企画・調整を図り、一元的に実施する。

さいたま市教職員研修会の企画・調整機関として、各課所室が主催する研修内容・会場等のさらなる整備・体系化を図り、教職員研修を一元的に実施して、学校の課題やニーズに対応した研修の充実を図る。

(5) 大学や企業等と連携した研修において、教職員の専門性・人間性を一層高める。

教職員研修の講師に大学教授等を積極的に招聘し、教職員一人ひとりの課題や経験等に応じて得意分野を伸ばすことのできる、より専門性の高い研修の充実を図る。また、5年経験者研修における福祉施設等での体験研修、10年経験者研修における企業体験研修では、教員の視野の拡大と意識の改革を図ることにより、より人間性豊かな教員の育成に努める。

3 事業内容

(1) 研修内容

- 年次研修 教職経験年数に応じた経年研修
 - ・必修研修...初任者研修、2年経験者研修、5年経験者研修、10年経験者研修
初めて教職に就く臨時的任用教員のための研修会
 - ・希望研修...25年経験者研修、臨時的任用教員研修

- 専門研修 教職に関する専門性を高める研修
 ・教務主任研修、学年主任研修、教科等研修、教育課題研修等（メンタルヘルス研修、情報セキュリティ研修、保護者対応研修等）
- 特別研修 教員のキャリアアップ、スキルアップを図るため特別に実施する研修
 ・キャリアアップ研修として教育経営研修会等
 ・スキルアップ研修として指導改善研修
 ・さいたま市教育研究会との共催による教育講演会

（２）参加対象による区分

- 指定研修 各種の主任及び専門分野を担当する教職員を各校１名指定して行い、当該教職員が欠席の場合原則として代理出席を必要とする研修
- 必修研修 年次計画に基づいて進める全教員必修の研修
- 推薦研修 推薦・選考に基づき、指導的な役割を果たす教員を養成する研修
- 希望研修 教職員の自発的な希望により教職に関する専門性を高める研修

（３）キャリアステージに応じた研修の体系

【キャリアステージに応じた研修のねらいと育成したい主な資質・能力】

| 経験 | キャリアステージに応じた研修のねらいと育成したい主な資質・能力 | | 基幹となる研修 |
|-------------------|---------------------------------|---|--|
| 1年 5年 | ステージ1 (初任期) | <p>教育活動に必要な基礎的・基本的事項及び実践的指導力を身に付け、教員としての資質・能力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員としての自覚 ・学習指導、生徒指導、学級経営等日常の指導についての職務遂行能力 ・研修意欲の涵養 | 初任者研修 2年経験者研修 5年経験者研修 若い校務分掌主任研修会 臨時的任用教員研修会 |
| 10年 15年 20年 | ステージ2 (中堅期) | <p>教育活動に関する専門的な知識・技能や実践的指導力を磨き、自己の得意分野を開発するとともに、学校運営への積極的な参加意欲を高め、中堅教員として一層の資質・能力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営への積極的な参加に必要な企画・立案、事務処理等の資質・能力 ・学年経営、教科経営、各種主任等に必要となる専門的知識・技能と幅広い教養 ・社会性と広い視野と柔軟性に富む職務遂行能力 ・若手教員をリードし、学校運営を推進する意欲と実践力 | 10年経験者研修 新任学年主任等研修会 校内LAN指導者養成講座 校内研究主任等研修会 |
| 25年 | ステージ3 (熟練期) | <p>教育活動について、より広い視野から課題解決の方策を見だし、学校運営を推進する態度や能力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する高い理念や識見、より高度な専門性 ・地域や学校の状況・課題等を的確に把握する能力 ・豊かな教職経験を生かして教科研究や校務分掌等において、教職員をリードする能力 ・学校運営を推進し、広い視野から課題の把握と解決に当たる判断力と実行力 | 教育経営研修会 教務主任研修会 25年経験者研修 |

（４）改善・充実の視点

情報教育の研修プログラムを見直し、ICT利活用に必要なスキルと指導力のさらなる向上を図る。

学校組織マネジメント研修を計画的に導入し、学校組織の一員として自己の力量を発揮するために必要な資質・能力の向上を図る。

教職員研修に関する効果測定を実施し、その結果を基に学校の課題や教職員のニーズに対応した研修会を開設し、内容の充実を図る。また、研修効果共有に関する実態把握に努める。

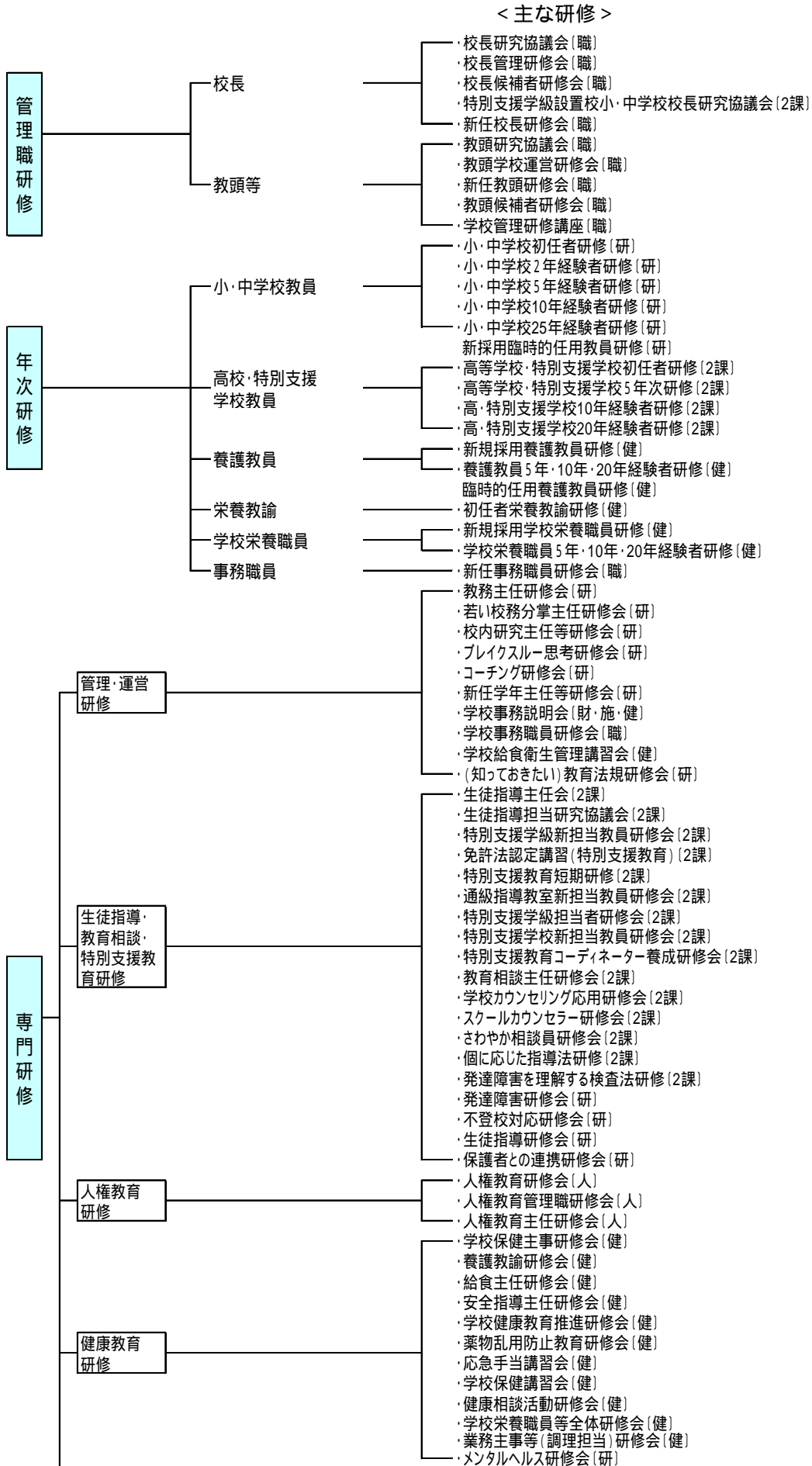
実践・演習など、日々の教育実践の中ですぐに役立つ研修の内容や方法を工夫するとともに、教員の自主的な研修を幅広くサポートする。

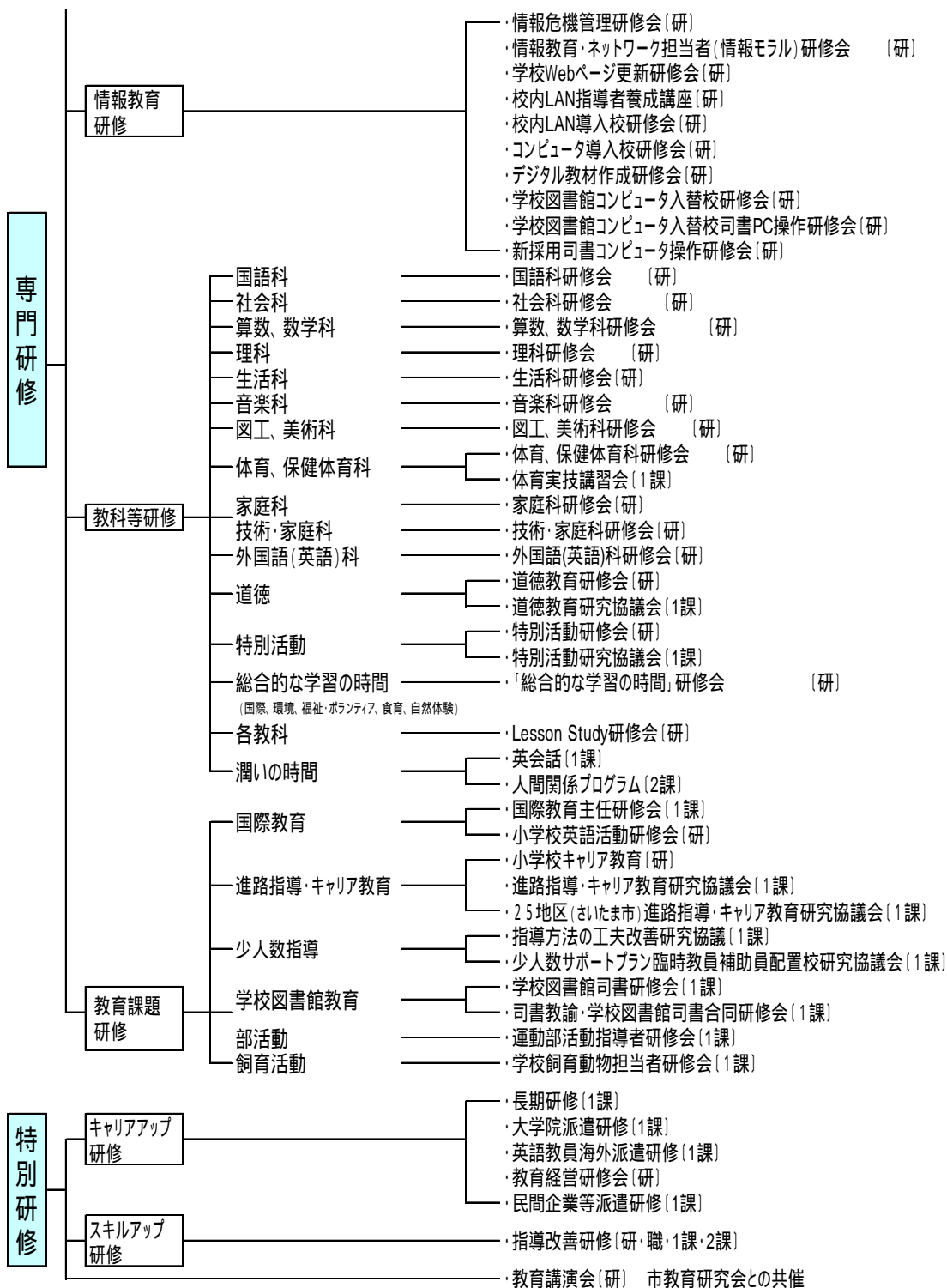
指導改善研修においては、教員の指導課題を明確化し、その課題解決を図る効果的な研修を実施するとともに、研修内容及び方法のさらなる改善・整備・充実を図る。

「教師力」パワーアップ講座を継続的・発展的に実施するとともに、より参加しやすく実用性の高い講座の開設に努める。埼玉大学等との連携を深め、教員志望の大学生にも参加を呼びかける。

6 平成21年度さいたま市教職員研修実施予定

(1) 平成21年度さいたま市教職員研修体系





()内は主管する課所室の略称
 (職)教職員課 (財)教育財務課 (施)学校施設課 (1課)指導1課 (2課)指導2課
 (健)健康教育課 (研)教育研究所 (人)生涯学習振興課人権教育推進室

さいたま市教育委員会学校教育部の各課所室が主催する研修会(県との共同実施・委託を含む)のうち小・中学校を中心に主なもののみ記載。

情報教育事業

1 基本方針

教職員及び児童生徒の情報活用能力の育成

- (1) ICT を活用した「分かる授業」の充実及び情報モラル教育の推進を目指し、教職員、児童生徒の情報活用能力の育成を図る。
- (2) 校内LANの環境整備を進め、普通教室等において情報機器を活用した指導方法の研究を進める。
- (3) 教育用コンピュータや学校図書館コンピュータに関わる機器の整備を進め、これらの一層の活用促進を図る。

ICT・・・Information and Communication Technologyの略称

2 具体的努力事項

- (1) ICTを活用した「分かる授業」の充実と教職員及び児童生徒の情報モラルの向上
 - ・ ICTに関する各種研修会を実施し、デジタル教材やコンテンツ等を使った授業を推進することにより、「分かる授業」の一層の充実を図る。
 - ・ 学校情報の安全を守るために、各学校の情報に関わる「ガイドライン」や「学校情報セキュリティに関する規程」等の作成を支援し、各学校のセキュリティ確保に関する指導・相談を行う。
 - ・ 各学校の管理職・情報教育主任を対象に指定研修会を実施し、教職員の情報モラル向上と児童生徒に対する情報モラル教育の推進を図る。
- (2) 校内LAN整備と普通教室等におけるコンピュータ等の情報教育機器を活用した授業の具現化
 - ・ 情報教育研究指定校を中心に授業研究を進め、情報教育機器の効果的な使用方法を中心に、教科等の指導方法について研究する。
 - ・ ICT活用研究委員会において、校内LANの効果的活用を推進するために、研究指定校の取組の内容について適切な情報交換を行い、教材開発・提示の在り方等について研究する。
- (3) 教育用コンピュータ及び学校図書館コンピュータの活用促進
 - ・ 教育用コンピュータを活用した授業の促進を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。
 - ・ 学校図書館コンピュータの活用に関する研修会を実施し、各学校の司書教諭と学校図書館司書を支援する。
 - ・ 学校図書館コンピュータの利用の促進を図り、各学校の読書活動を充実させる。

3 事業内容

- (1) 各種研修会の実施
 - 校内LAN指導者養成講座・・・・・・・・・・・・・推薦
校長が推薦する教員を対象とし、校内LANを活用した学習指導を市内の学校に広めるための指導者となる人材を育成する。
 - 情報管理者研修会・・・・・・・・・・・・・指定
管理職を対象とし、適正な情報管理、情報モラル教育の充実に関する内容や情報セキュリティに関する内容等について研修する。

情報セキュリティ研修会・・・・・・・・・・・・・・指定
 教務主任等の情報セキュリティの担当者を対象に情報教育推進を図るために必要な情報セキュリティの確保についての知識・技能について研修する。

情報教育・情報モラル研修会・・・・・・・・・・・・・・指定
 ネットワーク運用担当者を対象に教育情報ネットワークの活用及び学校のICTの活用を図るために必要な情報モラル指導等の充実に関する内容等について研修する。

学校Webページ更新研修会・・・・・・・・・・・・・・指定
 学校Webページの充実と適切な更新を図るための研修を毎学期実施する。

校内LAN導入校研修会・・・・・・・・・・・・・・指定
 すべての教員が校内LANやICTを活用した授業ができるようにするための全教員対象の研修会を実施する。また、その指導者となるための研修会を実施する。

校内LAN・コンピュータ導入校研修会・・・・・・・・・・・・・・指定
 新規導入したネットワークコンピュータの取扱い、運用の仕方等についての研修会を実施する。

新採用学校図書館司書コンピュータ操作研修会・・・・・・・・・・・・・・指定
 学校図書館コンピュータの機能と基本的な操作についての理解を図るための研修会を実施する。

ICT授業活用研修会・・・・・・・・・・・・・・希望
 「情報モラル教育って何!」「パワーポイントを活用しよう」「統合ソフトで教材づくり!」「デジタルコンテンツを活用しよう」「情報機器を活用しよう」を主題として、教員のICT活用指導力を向上させるための研修会を実施する。

情報SS研修(出前型)・・・・・・・・・・・・・・希望
 ICT機器の利活用、情報セキュリティ、情報モラル等に関する研修会を学校へ出向くなどして実施する。

(2) 校内LANを活用した授業の支援

情報教育に関する研究推進
 小学校2校、中学校2校を情報教育研究に関する研究校として指定し、校内LAN導入機器の活用方法等について研究し、全校配置に向けて研究を推進する。

ICT活用研究委員会
 校内LAN事業と情報モラル教育の推進・充実を図るために、ICT活用研究委員会を組織し、積極的な情報交換と今後の指導方法の研究を行う。

(3) 教育用コンピュータの整備及び学校図書館コンピュータの活用推進と管理・運営

教育用コンピュータの整備
 ・ 教育用コンピュータの入替に係わる仕様書作成・学校との調整
 平成21年度入替予定数
 教育用コンピュータ 小学校17校 中学校7校

コンピュータによる学校内の蔵書検索、貸出管理の支援
 ・ 学校図書館コンピュータソフト運用に関する支援
 ・ 学校図書館コンピュータハードの保守・管理

蔵書の共有検索の推進
 ・ 蔵書のデータベース活用(市内全小中学校全約140万冊)
 ・ 蔵書データ相互検索の実施

(4) 校務用コンピュータ導入(職員室LAN構築)の研究

主な施設・設備

●特 徴●

- 1 ネットワークの中核となるサーバ群
- 2 自主教材の制作を容易にする視聴覚施設・設備
- 3 教師の指導技術の向上を図る各種実技研修室
- 4 最新の教育情報を提供する教育情報資料室と図書資料室
- 5 180人を収容し、広く研修に活用される研修ホール
- 6 身近で親身がモットーの教育相談室



カリキュラムサポートセンター(2 F)



- 工期 昭和 63 年 6 月～平成元年 10 月
- 建築規模 鉄筋コンクリート造
地下 1 階、地上 5 階
- 敷地面積 2,025,44 m²
- 建築面積 923,93 m²
- 延床面積 4,331,96 m²



図書資料室(2 F)



教科書センター・資料室(3 F)



ロビー(1 F)



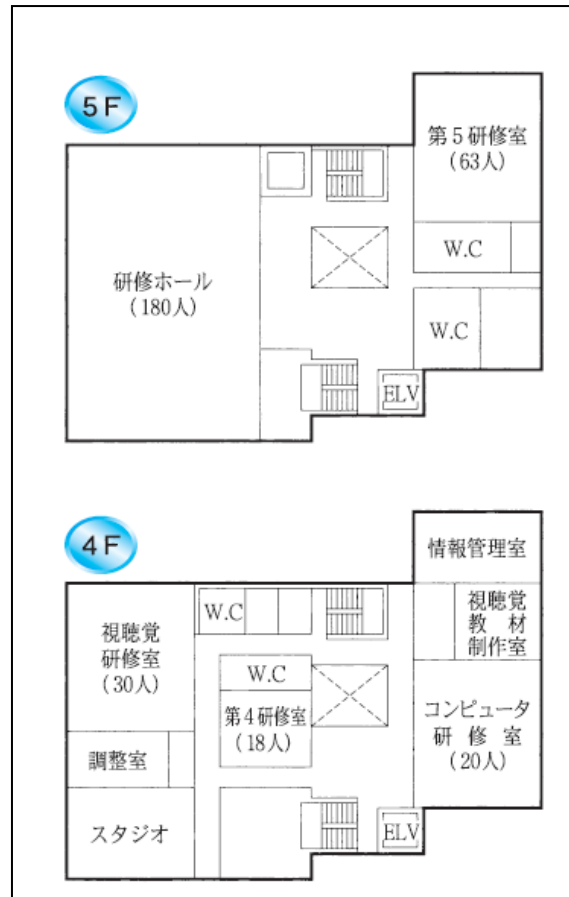
理科研修室(3 F)



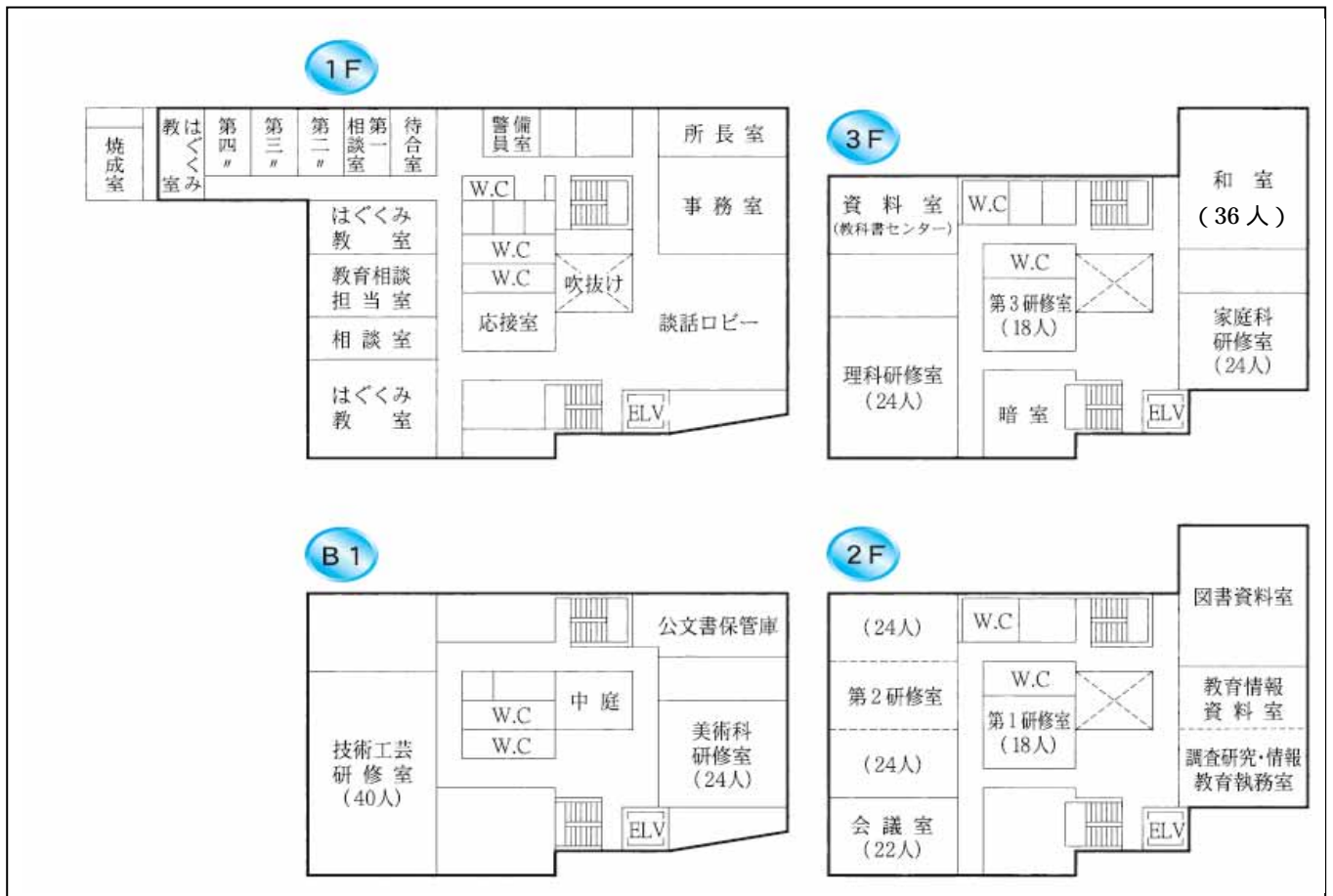
岸町教育相談室(1 F)



コンピュータ研修室(4 F)



研修ホール(5 F)



さいたま市立教育研究所利用規程

さいたま市立教育研究所

(趣旨)

1 この規程は、当教育研究所研修施設の利用について、必要事項を定めるものとする。

(利用の範囲と優先順位)

2 当教育研究所は、「市立教育研究所条例」等の設置目的により、「教育研究所利用規程」により利用することができる。当教育研究所の利用できる範囲及び優先順位を以下のとおりとする。

- 教育研究所の研修会、行事等
- 教育委員会各課の研修会、行事等
- 学校長が許可した各市立学校の研修会
- 市長部局各課の研修会等
- 関係学校長が許可した市立学校関係団体の研修会等
- その他、教育研究所長が適当と認めた場合

(利用日時)

3 土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとする。

但し、指導主事が同席、または所長が許可した場合は、この限りではない。

(申請書の提出及び許可)

4 利用者(代表者)は、あらかじめ、各部屋等について利用状況を確認の上、所定の利用申請書にて申し込む。所長は申請について支障がないと認めるときは利用を許可し、許可書を発行する。

利用者(代表者)は、研修会等の開始時刻を明確にする。

(各施設の利用方法)

5 各施設を利用の場合、利用者は下記のこと配慮し、利用終了後は原状とする。

研修室・ホール

- 各部屋の会場設営は、原則として利用団体で行う。
- 利用後は、机・椅子等をもとの位置にもどす。
- 研修ホール壇上の国旗、市旗等の移動は、原則としてしない。
- ゴミ等は、各階のパントリーのゴミ箱に片づける。
- 図書資料室の貸し出しは貸し出し規程による。

施設・設備

- 各施設・設備(スタジオ、マイク、ビデオ、コンピュータ、プロジェクター)等を使用する場合、あらかじめ、利用申請書に記入し許可を得る。
- 機器等は十分に留意して扱い、使用方法が分からない場合、破損等に気付いた場合は、事務室に連絡をする。また、使用後、破損等がないかを確認する。
- 所内には、張り紙等の掲示はしない。
- 備品の所外貸し出しは原則としてしない。

喫煙

- 平成16年4月1日から禁煙とする。

パントリー(湯茶等)

- パントリーは各階にあり、原則として、利用の階のパントリーを使用する。使用後は茶器、ふきん、ゴミの処理等、衛生面に配慮して片付ける。

冷暖房・換気

- 冷暖房は、各部屋ごとに調整できる場所と、事務室で集中管理している場所がある。集中管理の部屋の冷暖房は事務室に申し出る。

応接室

- 使用を特に希望する場合は事務室に申し出る。
- 湯茶の接待等は1階のパントリーを使用する。

(駐輪場の利用)

6 建物の東側に列を整え、駐輪する。

(駐車場の利用)

7 利用する上での留意事項は「駐車場利用規程」による。

(損傷等の賠償)

8 利用者は自己の責めに帰す事由により損傷した場合は損害を賠償する。

(その他)

9 管理上、教育研究所長が必要と認めた場合、やむを得ない事情があると認めた場合は貸し出しをしないなど、必要な処置をとるものとする。

附 則

本利用規程は平成 1 5 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

本利用規程は平成 1 6 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

本利用規程は平成 1 9 年 2 月 1 4 日から適用する。

案 内 図



平成21年度

要 覧

さいたま市立教育研究所

郵便番号 330-0064

住 所 さいたま市浦和区岸町6丁目13番15号

電 話 048(838)0781

F A X 048(838)0888

E-mail kenkyujo@saitama-city.ed.jp

U R L <http://www.saitama-city.ed.jp/>

